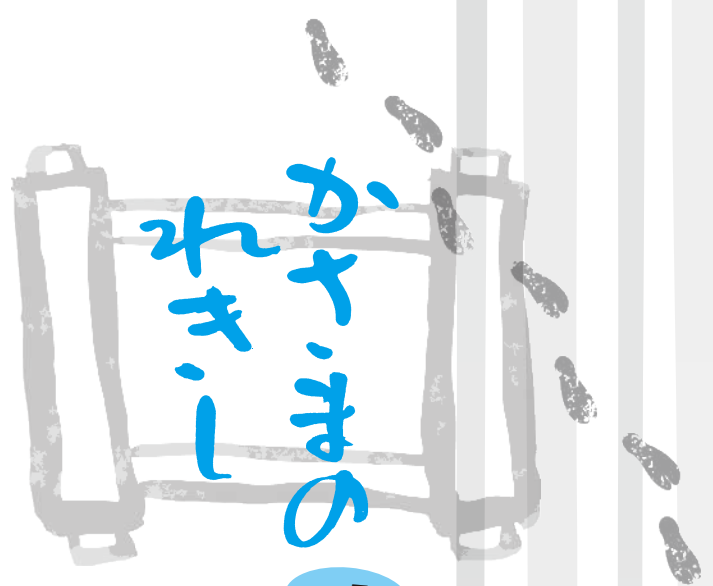




小田五郎追弔碑



No.52

小田五郎拳兵

難台城址追弔碑について

難台山中腹に「小田五郎拳兵難台城址追弔碑」(以下「追弔碑」という石碑があります。この碑が昭和九年(一九三四年)に建立された経緯について考えてみます。

十四世紀後半、常陸国南部の小田氏の一族小田五郎藤綱が、下野国(栃木県)の小山氏の一族小山若丸と盟を結び、南北朝時代末期の嘉慶元年(元中四年・一三八七)、関東八州を支配する鎌倉公方足利氏満に背いて拳兵し、難台山に立てこもりました。力戦奮闘

の末、翌年五月十八日、主将小田五郎は手兵百余名と共に討死し、客将小山若丸は再起を図り脱出しました。当時は、北朝の天皇を擁立した足利政権による全国支配がほぼ完成した時期でした。

次に、「追弔碑」が建立された経緯を考えてみると、昭和九年は後醍醐天皇による建武中興(現在は「建武の新政」とよぶ)から数えて六百年後に当たり、一部の軍人・神職・歴史家などにより、後醍醐天皇と南朝の忠臣の功績を顕彰する「建武中興六百年記念事業」

が全国各地において挙行されました。旧岩間町においても、同年三月に南朝の忠臣小田五郎追弔祭が岩間小学校(現岩間第一小学校)にて挙行され、岩間町長はじめ約一千名が参列しました。

その後、町民の寄付金により小田五郎の「追弔碑」が建てられることになり、高さ四・五m、幅一・八mに余る仙台石に、町長梅里好文揮毫による「小田五郎拳兵難台城址追弔碑」という銘が刻まれ、難台山中腹に建立されて現在に至っています。

なお、旧堅倉村(小美玉市)納場の小林虎男氏が難台山麓で拾得して自家に保管していた「小田五郎」と刻まれた墓碑らしき石碑(高さ二十五cm・幅二十cm)も、旧岩間町に寄贈されて、「追弔碑」の傍らの祠の中に格納されています。

また同年五月、笠間市泉にある藤塚と呼ばれる円墳から、後醍醐天皇の側近藤原藤房の銘碑が発見されたため、藤房の命日をトとして同年十月十日慰霊祭が挙行されて、翌年藤塚古墳上に「藤原藤房卿遺跡」なる石碑が建立されました。

(市史研究員 萩野谷 洋子)

【問い合わせ】生涯学習課(内線 382)

国産品なら
畳工房

ニタイラ

他社と比べて下さい
見積もり無料

10周年記念セール

今月末までです!!
早めのお見積りを

全品 15%OFF

畳表替え……3,900円～
襖張替え……2,800円～
障子張替え(大)……1,780円(税別)
アミ戸張替え(大)……2,100円(税別)
◎オーダーカーテンもやっています

笠間市小原1216 TEL0296-77-7845

外壁・屋根…うちもそろそろかな…?

色々なところから営業が…
どこに頼めばいいの…?

そんなあなたも
お気軽にご相談下さい!
外装点検・お見積り無料



一級塗装技能士による住まいの塗り替え

(有)中嶋塗装工業

茨城県知事許可 第31532号 本社 石岡市半ノ木14159-5

中嶋塗装 検索 TEL 0299-57-1641